

平成 25 年 3 月 15 日

## 環太平洋経済連携協定(TPP)への交渉参加表明について

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
会 長 中 鉢 良 治

電子情報技術産業協会を代表し、この度の環太平洋経済連携協定(TPP)への交渉参加表明を歓迎する。

海外企業との競争がますます激しさを増す中、日本企業がこの熾烈な国際競争に打ち勝つためには、国際的に公平性のある競争条件の整備が必要不可欠であり、加えてアジア太平洋地域と一体となった成長が重要である。政府には、わが国産業の国際競争力強化に向け、六重苦の一つである「自由貿易協定への対応の遅れ」を解消すべく、この度の TPP を梃子に、日 EU 経済連携協定や東アジア地域包括的経済連携(RCEP)など、自由な貿易投資環境下でのグローバルサプライチェーンの展開に向けたルール作りをより一層加速させることを期待する。

なお交渉に際しては、安心・安全に関わるなど日本にとって重要な分野において必要な主張を行いつつも、関税のみならず市場アクセス、知的財産保護、投資などハイレベルのルールづくりに参加することで、アジア太平洋地域の高い成長をわが国に取り込むことが重要である。IT・エレクトロニクス業界としては、IT の利活用を促進することによって、農業を含む重要産業の競争力強化と成長産業化を支援していけるものと考えている。

以 上